

# コロナ後の泉北ニュータウンの新たなあり方（イメージ）

## ◆コロナによる影響

	コロナ前	コロナ後	求められる機能
住まい	<b>帰って寝る場所</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事は都心のオフィス</li> <li>勉強は学校</li> <li>子育ては保育園等</li> <li>住まいは交通至便な都心が人気</li> </ul>	<b>長い時間を過ごす場所</b> 「長いおうち時間」 <ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインの仕事、勉強ができる場所</li> <li>仕事と子育てができる場所</li> <li>趣味ができる場所</li> <li>オンライン診療が受けられる場所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン環境、ワークスペース（書斎）</li> <li>オンライン時、趣味の生活音対策</li> <li>居住性能の充実（居心地の良い空間の確保）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>居住の広さ</li> <li>省エネ性能、断熱性能の向上</li> <li>遮音・防音性能の向上</li> <li>換気性能の向上</li> </ul> </li> </ul>
まち（地域）	<b>休日に過ごす場所</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供と遊べる場所</li> <li>食品雑貨を買える場所</li> <li>平日のコミュニケーションは職場の近く</li> <li>通勤が一定の運動不足解消</li> </ul>	<b>平日も過ごす場所（職住近接）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活かした居心地のよい居住環境</li> <li>自宅で仕事ができない場合の仕事ができる場所</li> <li>自宅での生活に疲れた場合の、息抜きできる場所。</li> <li>コミュニケーションできる場所</li> <li>運動不足を解消できる場所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にシェアオフィス、リモートオフィス（遮音・防音性能がある施設）</li> <li>駅前等にサテライトオフィス</li> <li>コミュニケーション、ストレス解消、食事もできる喫茶店や居酒屋空間等</li> <li>快適でくつろげる公園、広場</li> <li>運動、子供も遊べる公園、広場</li> <li>散歩やサイクリングができる緑道、自転車道</li> <li>居心地のよい地域らしい良好な景観（古民家、団地、緑、川など）</li> </ul>

## ◆コロナ後の取組み:泉北ニュータウンの新たなあり方検討

### <ポテンシャル>

- 公園と緑道で駅から結ばれた緑豊かな居住空間
- 旧村の魅力的な農空間、里山と隣接
- 充実した道路ネットワーク（バス路線）

### <公的資産の活用>

- 約25haの活用創出（H28～R13）
- 既存ストックの活用（集会所、空室等）

### <検討中の機能導入>

- 新たな多様な住まい
- 特徴のある商業機能
- 教育施設（中高、大学等）
- 高齢者が楽しく過ごせる施設
- 仕事場の創出

### 活用地を最大限に活かした泉北NT公的賃貸住宅のコロナ後の新たなあり方を検討

- 活用地全体の活用の方向性
- 既存ストックの活用の方向性

〔住宅性能、リモートコミュニティへの対応  
地域らしい新たな機能導入、環境・景観デザイン〕

個別団地の「まちづくりテーマ」設定